

広報よこしば

中学の部で二位

都市ロードレース大会

第二回山武郡市ロードレー
ス大会は、二月九日山武町を
会場として行なわれ、参加し
た十チームによつて覇をきそ
いました。

生の部は準優勝の栄をかちました。
成績は次のとおりです。

三位 横芝町
山武町

ふる里の話題

大原幽学と横芝町

○九月十三日、屋形村沙村氏
宅にて

四月に至り景物左の通り、
「加美津ふさの国武射郡屋形

物影の尖く閣し後の月
(この年には実に多く屋形村
を訪れている。ここに記すのは極めて一部であつて、このほかにも日記其他によつても度々屋形村を訪歴していることが散見される。)
○天保九年（一八三八）四月
二日に出立し一の宮に至り、
真光寺、觀明寺に遊び終日語
らい、十一日出立し再び屋形
村に至る。性学終日論談、閑

村の郷海保の先祖なる者、その末々の為には、有難き事とも多く残し置かれしと云ひ伝へ有りとなん。浅野性（姓の誤りならずや）にも其の同志もありと。然るをいつの世からとも知れず、隔心するものあり。亦奢りに長じ風俗などを好むもあり、衣服等に至る迄も都べて下賤好みなど、「先祖に不幸の者多し。是に於て先祖の恩をおもい出し、古



幽学先生が最初に常会を開いたと言わ
れるところに建つ記念碑。前方遙かに
耕地を俯観する丘の上にあり。

忠信と言ひて、つべしの徳なりと云いつべし。大きいなりといふべし。亦當時は愚俗の嘲りに逢う事も有る可けれども、その心だに失はざる時は

に長じたる
更に、海保
よく人の道
きを幽学が
がその人に
曳いた一例
伝えると
神、海保家
よう忠告し
れを励まし
たという、
術にも一家
を持つてい

税務課長 企画課長 建設課長	中田 静 小沢 春光 川島 忠	二一年 二〇年 二〇〇年	二〇〇〇年	
への規矩に立直さん	志し、			の三人の主達に、今斯くも順
その友どち十四、五輩なる中				弱の風俗を改むるには、まず
に海保兵太郎、同五郎八、浅				其の身其の身の行ないを革す
野吉右門（右衛門ならずや）				め、能く勤め、漸々にと三世
				の後に至るの古への如くの規
				矩に立直るべきの事にして、
				一人の力に及び難き所以を能
				く知られたり、故にます。今
				この同志の童子達をば、古へ
				の尊き時の志に引入る為と
				て、この中にも、若し、未熟
				の人有らば夫なりにして唯々
童子達を引				タ

は九年に亘る老人ホーム院長などの公職を歴任される一方、民生委員総務・児童委員、社会福祉協議会長などを勤め、これらの県の役員も兼ねられ、社会の下級層の救済等明朗社会の実現へ議論が大いに進んでゐる。

に寧日なく奔走されていました。
明治三十四年生れと言え
ばまだまだこれから、ひと
働きもふた働きもして、いた
だける二年輩、無慈悲にも
病魔はこの人を奪い去って
しまいました。まことに痛
惜にたえない次第であります。
謹んで哀悼の意を表し

(右は当時網主として威を張った千神海保家の当主が徳に積んだ先祖に引かへて、奢りに長じたるを戒めたもので、更に、海保、浅野等の人達がよく人の道を守り、行ひ正しさを幽学が賞でたもので、彼がその人に依り指導の方針を曳いた一例である。

君達が誓へる誠の徳つまば
その名は末の
世に残るらん。
と記し参りせて十七日長沼は
に至り終日著者の下書を認む
る、二十日俊策先生に会へば
二十八日屋形村に帰る。

掲載されたことがあります。写真なので細かい点までは判りかねたが割合いに型も整い立派に見えたことを覚えていました。今から百三十年の昔、房総の地では既に義歯が用いられていたことを想うと、屋形附近の農家の庭先に黄楊の木等を見かけると「こんな木か義歯に用いられたのではなくいかしら」と何か懐古の情が湧き上って来ます。

尚、幽学先生始作の義歯の写真には「材質不明の木製」という注釈が付記されておりま

に寧日なく奔走されていました。
明治三十四年生れと言え
ばまだまだこれから、ひと
働きもふた働きもしていた
だけるこ年輩、無慈悲にも
病魔はこの人を奪い去って
しまいました。まことに痛
惜にたえない次第であります。
謹んで哀悼の意を表し